

# まちづくり協議会 変わります 2024

総会

役員会

資金支援部会

理事会

花とみどりの部会

福祉部会

農あるまちづくり部会

情報支援部会

フォトコンテスト部会

Welcome 部会

ラブみやまえ実行委員会

広報紙部会

まちづくりウォーキング部会


一般会員、各種団体・企業の推薦会員から構成されています

## 農あるまちづくり部会「みやまえ農フォーラム」開催


宮前区まちづくり協議会農あるまちづくり部会が宮前区と共催で、区内にある「農」の魅力を伝えるフォーラムを開催します。今回のテーマは「地元野菜で時間を楽しむ」。普段は聞けない農家の話や、季節の素材を使った食を提供するお店の話など、様々な事例を紹介します。詳細は区役所等で配布中のチラシか区HPをご覧ください。

日時 3月9日(土) 13時半～16時  
 場所 区役所4階大会議室  
 定員 50人(先着順)  
 申込方法 区役所地域振興課あて  
 窓口直接、電話、  
 応募フォームで  
 電話 044-856-3125

(区役所HP)




(応募フォーム)



**まちづくり広場へのご意見・ご感想はこちらまで**

(事務局) 宮前区役所地域振興課

電話 856-3125  
 F A X 856-3280  
 E-MAIL 69tisin@city.kawasaki.jp  
 HP アドレス <https://www.miyamae-machikyo.com>



【 編集後記 】  
 宮前市民館の案内板に「〇〇幼児クラブ、第43回募集」の案内を発見。友達が幼稚園に行き兄が小学生になって遊ぶ相手がなくなった第2子が、毎日「つまんない、つまんない」の愚痴と不満の連発に、何か方法はないものかとあちこち探してヒントをもらい、6か月の娘を背負って44年前に私が始めた幼児クラブの募集案内でした。あまりの懐かしさに、今ではオジサン、オバサンになった子どもたちに写真を見せつつ、未だに存続しているのにびっくりしました。(A.H.)

## 変わります まちづくり協議会

昨12月の臨時総会を経て「まちづくり協議会」は2024年4月から大きく変化することになりました。

協議会は、1994年の区づくりプラン策定委員会の発足から区づくりプラン推進委員会を経て2005年に生まれています。その間には多くの区民同士が200回も対話の場を重ね、区民生活に求められるテーマを整理してきたと聞きます。1990年代後半から2000年代初頭といえば、国連でも人権や環境が重視され、川崎市では外国人市民代表者会議、子どもの権利条例など、今も全国に誇れる貴重な制度が確立した時期であり、市民自治の気概が市民・行政ともに盛んな時期でした。以来今日まで、行政と協働するこの協議会は、課題に応じ形を変えながら活動を続けてきました。しかし、振り返れば長く続けてきた価値の一方、中間支援組織をうたいながら新規の人や活動を広く包摂できていたか、行政と協働することの意味を問い直す時期に来ていました。

2019年に出された市のコミュニティ施策の方針を契機に、協議会内では設立以来の経緯を振り返りつつ活動の見直しを重ねた結果、今春から自主運営する市民団体として新たな一歩を踏み出すことになりました。臨時総会では、当面「まちづくり協議会」の名を残し、積み重ねた経験と人のつながりも活かしながら広い視点でまちづくりを推進していくことが合意されました。



現行の活動の一部は、行政との協働で進めるものも残りますが、それも今後は変化していくことが想定されます。「協働」のもとこれまで行政に事務局も会計も預けてきた活動も、今後は自前の会費や寄付で予算を立て、事務もメンバーが担って運営していく前途は、なかなか困難な道であろうと想像されます。

しかし、それは市民活動のもともとの姿でしょう。関心を持つ新たな人が加わり、あるいは他団体ともつながり、また行政とも緊張関係を保ちながら連携し協働を促していくことができれば、互いに高めあってよりよい地域をつくっていくことが可能になると思います。

次世代へ、また自らの明日へ、地域のひとりのおとなとして責任ある活動を、ともに楽しく広げていける人が増えることを願っています。

(まちづくり協議会 喜多麗)

今月号の主な内容	
1面	・変わります まちづくり協議会
2面	・ラブみやまえ2023開催
3面	・同上
4面	・まちづくり協議会組織変更 「みやまえ農フォーラム」開催

次回予告 300号はまちづくり協議会と広報紙の足跡を特集します  
 まちづくり広場300号をもってしばらく休刊となります

昨年11月、まちづくり協議会・宮前区共催の「第16回まちづくり広場ラブみやまえ」が市民館・市民広場で開かれ、26もの市民活動団体が参加。寒い日でしたが多くの区民がみやまえの魅力を楽しみました。



◆ロビーでは◆

昨年に引き続いて大学生がボランティアとして受付に協力。子どもたちは、もの作りを体験したり恒例のスタンプラリーの景品交換所でどの景品を選ぼうか悩んでいました。



◆市民館ホワイエでは◆

手作りの紙芝居の上演や、市民活動団体の紹介が行われました。



◆市民館ギャラリーでは◆

「未来の宮前区を描きましょう」と区民がそれぞれの想いを桜の枝に貼り付け、桜が満開になりました。また、まちづくり協議会や市民活動団体の紹介も行われました。



◆市民広場では◆

今年も焼きものの販売が大人気、午前中に売り切れました。恒例の地元野菜の販売、コーヒーや焼きそば、パンの販売も。木工おもちゃコーナーのピンボールやルーレットのほか、スーパーボールすくいもあり、子どもたちが楽しみました。市民活動団体の紹介が広場でも行われました。



◆広場のステージでは◆

パフォーマンス紙芝居・詩吟・音楽・メロコス体操などを、宮前区のゆるキャラ、メローくん・コスミンちゃんといっしょに楽しみました。

